

# 玉手山学園 広報

Tamateyama Gakuen Kouhou  
Vol.70  
2012.9  
autumn

巻頭 理事長あいさつ

快適授業空間を  
共に作り上げよう!

## Contents

- 巻頭 理事長あいさつ
- 学園トピックス
- 平成23年度 決算報告
- 平成24年度 予算概要

## 建学の精神「感恩」

人はみな有形無形の数々の恩恵を享受し、今の自分がある。この偉大なはからいに目覚め、深い感動と感謝の念から発する豊かな心と情熱をもって、人の幸せを願い行動するとき、われわれは社会に貢献することができる。

～「ありがとう」に出会い気づき、感動・感謝の行動から、  
また新しい「ありがとう」が生まれ出されていく～

# 快適授業空間を 共に作り上げよう！

理事長あいさつ

## 学園1期生の元気な姿

玉手山学園70周年記念式典(5/11)に、玉手山高等女学校1期生数名が元気に出席されました。今日まで社会をお導き下さった1期生に、会場全体から盛大な拍手が送られました。昭和17年の乙女たちは、「80周年にもぜひ、元気に出席させていただきます。」と力強く語られました。私にとって母のような年代の方々から、“元気”をいただきました。6万名を超える卒業生の皆さまは、学園の伝統・歩みそのものであり、誇りです。



大学2号館8階から古戦場小松山を望む

## 学園スタッフの応対に好感

その式典・祝賀会には700名ものお客様がお越し下さいました。学生の就職先、実習先の方々など学園がお世話になっている皆さまから、お祝いや温かい激励のお言葉をいただきました。学園の教職員、そして学生たちが誠実に職務、学業に取り組んでいることの証左であると喜んでいきます。ご来場の方々から「貴学園の教職員の応対(笑顔、丁寧、元気、きびきびした動作等)は、とてもよかった。」とお褒めの言葉を多数いただきました。教職員の「感恩」を体した誠実な姿勢に感謝し、皆さまを誇りに思います。



「学園70周年all同窓会」にて創設期写真の女性と出会えました。

## 毎日の授業を快適・快調に

学園は、一人ひとりの夢に近づくと、なりたい自分になるために自分を高め伸ばすところです。その基本は日々の「授業」です。ときどき、「うるさくて授業を受けられない。」とのご指摘を受けます。教員に聞けば「私の授業ではそんなことはない。」と言います。私は定期的に大学の授業を見学しています。春学期も多くの授業を覗きました。その範囲に限っては、うるさくて成立していない授業はありませんでした。しかし授業の「快適・快調度、有効度」には少なからず“バラつき”がありました。学生と教員が一体となり、テーマを共有し“考えている”授業空間は活気に満ち勢いを感じます。しかしとても残念なこと、それは学生の“授業中の私語や大胆な居ねむり”です。おしゃべり、居ねむりの本人が学習できないのは自己責任ですが、授業空間の“色調”に好ましくない影響を及ぼしています。授業環境を劣化させているとも言えるでしょう。おしゃべりや居ねむりが、いかに非生産的(もったいない)で、迷惑行為で格好悪いか気づいてほしいと思います。学生たちにはスマートになってほしいのです。一方、教“職”員は「しゃべるのは、眠るのは学生が悪い！」で済ませるのではなく、「眠くならない、目が離せない、惹きつけられる授業作り」に一層、工夫を凝らしていただきたいと願います。加えて空調、マイク、AV機器、教室サイズなどハード面の環境作りも大切です。「快適授業空間」は教“職”員と学生双方で作り上げていくものです。授業は毎日、快適・快調に過ごしましょう。

# 学園 トピックス

## 「韓国専門大学 教務・ 入学処長協議会代表团」 23名が来学



平成24年7月5日（木）「韓国専門大学 教務・入学処長協議会代表团」23名が関西女子短期大学・関西医療技術専門学校に来学されました。今回の来学は、学校法人玉手山学園が特化している運営内容と関西女子短期大学の学科紹介及び両国の入試の現状・展望・発展についての情報共有が目的でした。

友好的な雰囲気の中懇談が行われ、江端理事長より歓迎挨拶、学校法人玉手山学園についての説明、孫協議会会長より訪問受入れに対する感謝の意を表する訪問挨拶が行われました。続いて、鈴木専門学校長と、祖父江短期大学長より説明が行われました。質疑応答では予定していた時間を経過するほど活発な意見交換となり、最後に今後も相互に良好で多様な交流を展開していくことを確認して、終始なごやかな雰囲気です終りました。

## 「アンニョンハセヨ！」 韓国から幼稚園へ 視察団が来園

6月7日（木）に韓国より「昌原

大学付設保育教師教育院」の教授・学生の総数43名の皆さまが来園されました。



視察団の方々のご要望が「森の中の幼稚園」ということで、我が園が選ばれたようです。

当日は観光バスで来園され、山の運動場から始まり、文化財の立教館、園舎での保育の様子へと順次見学されました。

園舎では歓迎の気持ちを込めて、年長組の園児による合唱を聞いて頂き、園児からの「アンニョンハセヨ」「カムサハムニダ」との挨拶にも、視察団の方々は大拍手と歓声を送っていただきました。子どもたちにも韓国の方々の訪園は初めてのことで、緊張の中にも嬉しさをのぞかせながら、視察団の皆さまと一緒に踊ったり歌ったりして、交流を楽しんでいるようでした。

そして、国際交流という、今までにない新しい経験がまた一つ増えたことを、とても嬉しく思っております。

## 河内音頭を踊る Fukkaの学生たち



総合教養Ⅰ河内学の5月21日の授業は、小体育館を利用して皆で河

内音頭を踊りました。河内音頭を踊るのは初めてという学生がほとんどでしたが、教則ビデオを見ながら練習していくうちに、何とか様になってきました。皆で輪になって踊り、最後にはテンポの速い曲に合わせて踊れるほどに上達しました。河内の伝統芸能を身をもって体験することで、地域への関心が高まり、理解が深まることを期待しています。

## 東日本大震災 復興支援プロジェクトは、今



中之島まつり（平成24年5月）

春号でも紹介しました同プロジェクトですが、平成24年3月に宮城で活動した第1次派遣チーム8名は、報告書・プロジェクト紹介ムービーの作成、災害支援におけるソーシャルワーカーの活躍を伝えるイベント企画・実施など精力的に活動しています。平成24年8月には、第2次派遣チームが岩手県に行きました。このプロジェクトについてメディアも関心を寄せ、既に3紙が取材に訪れました。大学祭では、活動報告のブースを設置しますので、応援のほど、よろしくお願いいたします。

## オープンキャンパスで 大人気 Fukkaヘルシー ランチはいかが？

関西福祉科学大学オープンキャンパスでは、オープンキャンパス特別メニュー「Fukkaヘルシーランチ」を提供しています。「Fukkaヘルシー

ランチ」は福祉栄養学科で学ぶ在学生が考案した「たっぷりVege食べる料理コンテスト」入賞作品のレシピを忠実に再現したもので、オープンキャンパスに参加された方に、本学教学への取り組みを知っていただくと同時に、たくさんの野菜を美味しく召しあがっていただくという思いから企画しました。

7月のメニューは「夏野菜おつかレー&レモン風味の福神漬サラダ」でした。参加された高校生、保護者のみなさんからは「ヘルシーでとても美味しい」、「家でも作りたい」との感想をいただき大好評でした。ランチ会場では福祉栄養学科学生によるレシピ紹介が行なわれ、オープンキャンパスでのランチの時間が最高に盛り上がりました。



## 高校に保育進学コース新設 2013年4月スタート!

高等学校は、来年4月より現在の「3コース制」を改編し、「4コース制」をスタートさせます。

具体的には、従来の「特別進学Ⅰ」・「特別進学Ⅱ」の両コースに加えて、女子のみの「総合進学コース」を男女共学の「進学コース」に、そして新コースとして、併設の関西女子短期大学、短大附属幼稚園との“強力な連携”を特色に、豊富な実習授業を経験しながら、幼稚園教諭、保育士をめざす「保育進学コース(女子のみ)」を発足させます。

## 高校のクラブ活動 がんばってます

現在、高等学校では体育系・文化系合わせて27クラブが活動しており、近畿大会、インターハイ、各種コンクール入賞を目指して練習に励んでいます。その中で、以下6クラブの近況報告をさせていただきます。

### ○なぎなた部：インターハイ出場

平成24年度インターハイ大阪府予選で、演技の部第2位の成績を収め、大阪代表としてインターハイへ出場しました。

### ○日本拳法部：全国高等学校選手権

大会出場、全・日本拳法総合選手権大会出場

第57回全国高等学校日本拳法選手権大会選考会で女子団体と合わせて、個人でも男子2名、女子5名が出場しました。また、9月に大阪で開催される全・日本拳法総合選手権大会に男子1名、女子1名の出場が決定しました。

### ○バドミントン部：全国私立高等学校選抜バドミントン大会出場

2012年度全国高等学校総合体育大会大阪府予選会で優秀な成績を収め、大阪府代表の1校として選考されました。

### ○卓球部：近畿高等学校卓球選手権大会出場

大阪高等学校卓球選手権大会ダブルス大会でシード校相手に競り勝ち、第66回近畿高等学校選手権大会に出場しました。

### ○美術部：大阪私学美術展奨励賞受賞

第61回大阪私学美術展に作品を出品し、その中の1点が奨励賞を受賞しました。

### ○演劇部：大阪高校演劇祭参加

大阪府高等学校演劇連盟によるフェスティバルに参加し、心斎橋ウイングフィールド劇場にて公演を行い、専門演劇人との演劇ネットワー

クを構築しました。

現在活動しているすべてのクラブが、学年の枠をこえて、スポーツ・文化等一つの事に夢になり、多くの仲間と協力しながら夢に向かって努力しています。今後も応援をよろしくお願いします。

## 専門学校 特定研修施設会議と 就職説明会を開催



専門学校特定研修施設会議(一部)・就職説明会(二部)が8月4日、ホテルグランヴィア大阪で開催されました。15の病院から33名の実習・就職担当者が出席し、専門学校・大学からは41名の教職員が参加しました。

特定研修施設会議では、専門学校長、大学学長、学部長の挨拶に始まり、実習のお願いとともに、専門学校の大学への発展的移行に理解と協力を求めました。

就職説明会では、理学・作業の最後の卒業生となる学生52名がリクルートスーツで出席。15の病院担当者から5分間のプレゼンテーションの後、各ブースで個別説明会を行いました。

## 世紀の金冠日食をゲット! 本学園幼稚園教諭が撮影

当日の午前6時前からカメラと遮光フィルターを準備し、日食が始まるのを待ちました。徐々に進んでい

く日食をカメラのレンズを覗きながら存分に楽しみました。きれいなリングが出来た瞬間は、なんととも言えないくらいの感動でした。



見やすいようにと園長先生が連続写真を順番に貼って下さり、子どもたちも不思議そうに見ていました。今後は金環日食だけでなく、日々の保育の中でも自然現象に子どもたちが大いに興味を持ってもらえるよう関わっていきたいと思います。

(畠山由佳理)

## 70周年記念 第5回理事長杯 中学生バレーボール大会



今年で、5回目となる大会を7月7日(土)、8日(日)に開催しました。

女子のみでスタートした大会も、第3回大会より、男子と女子の大会として開催しています。

5年連続で出場の6中学校を含め、男子8チーム、女子12チームの計20チーム総勢400名が参加する大会となりました。

初日のリーグ戦は、大阪府や奈良県に大雨洪水警報が発令され、残念ながら開催中止となりました。

2日目は、トーナメント形式で男子の決勝戦は、東大阪市立孔舎衛中

VS柏原市立柏原中・堅下南中合同チームの対戦となり孔舎衛中が優勝、女子決勝戦は、柏原市立堅下南中VS田原本町立田原本中が対戦し柏原市立堅下南中が連続して優勝しました。

警報のため1日に短縮された大会でしたが、顧問やコーチの先生方の生徒にかける熱い情熱と、中学生の礼節のあるスポーツ精神が昨年にも増して伝わる大会となりました。

## 学園安全衛生委員会主催 メンタルヘルス研修会を実施



安全衛生委員会主催のメンタルヘルス研修会を8月29日に実施しました。講師に大学健康福祉学部の大野太郎教授を迎え、「ストレスの実態と予防」というテーマで、日常生活と深い関わりのあるストレスの予防について、お話しいただきました。定時後にもかかわらず、教職員の皆様89名が参加されました。研修会では、ストレスに対してコーピング・スキルを高めていくことの重要性を講義いただき、学習を進めました。

## 第2回 ヨガ講習会開催

学生の健康増進、ストレス解消と「Do夢」リズム室の利用率アップのためにヨガ講習会を平成23年10月、24年6月に開催しました。

当日の参加者は、第1回19名、第2回14名で、2回共参加して下さった学生さんも数名おり、和やかに開催することが出来ました。

内容は、リンパの流れを良くし、痩身効果のあるポーズ、家に帰ってからも出来るメニューを行いました。ゆったりとした音楽を聴きながら、ゆっくり呼吸し、身体を伸ばし、とても気持ち良く心も身体もリフレッシュ出来たことと思います。

当日のアンケート結果も好評で、定期的な開催を希望されている方が多かったです。この講習会をきっかけにヨガを楽しみ、興味を持ってもらえたらと思います。

次回講習会は、10月頃を予定しています。

## 省エネ・節電の夏 学園施設の水銀灯を LEDに更新

今年度は、関西電力管内は、平成22年比10%の節電目標が提示されており、学園全体では電気量の前年比2% (22年比10%) 削減を目標値とし、取り組んでいます。

夏休みには経済産業省の補助金事業に採択された、高校第2体育館と記念講堂の天井照明のLED化を行いました。前提条件として1棟で年間10%の削減が求められるため大空間面積を占め、エネルギー効率の悪い体育館の水銀灯に着目し、LED化を計画し申請しました。

LED照明の特徴は、ワット数が小さいので、節電・節約が期待でき、体育館でも照明がすぐに点灯し(水銀灯は時間がかかる)、長時間の使用でも照度が落ちてこないのが特徴です。これで、体育館では、しばらくは足場を組んでの球替作業がなくなります。

# 平成 23 年度 決算 報告

## 資金収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで (単位 千円)

収入の部		支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金収入	3,596,566	人件費支出	3,114,304
手数料収入	85,471	教育研究経費支出	887,509
寄付金収入	38,709	管理経費支出	432,188
補助金収入	684,608	施設関係支出	611,915
資産運用収入	60,409	設備関係支出	310,623
事業収入	53,457	資産運用支出	288,000
雑収入	100,786	その他の支出	211,639
前受金収入	769,602	資金支出調整勘定	△ 231,528
その他の収入	143,414	次年度繰越支払資金	5,513,021
資金収入調整勘定	△ 825,322		
前年度繰越支払資金	6,429,971		
収入の部合計	11,137,671	支出の部合計	11,137,671

## 消費収支計算書 平成23年4月1日から平成24年3月31日まで (単位 千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	決算	科目	決算
学生生徒等納付金	3,596,566	人件費	3,054,381
手数料	85,471	教育研究経費	1,347,206
寄付金	53,201	管理経費	486,841
補助金	684,608	資産処分差額	6,126
資産運用収入	60,409		
事業収入	53,457		
雑収入	115,901		
帰属収入合計	4,649,613		
基本金組入額	△ 856,313		
消費収入の部合計	3,793,300	消費支出の部合計	4,849,554
		当年度消費支出超過額	1,101,254
		前年度繰越消費収入超過額	1,417,856
		基本金取崩額	4,357
		翌年度繰越消費収入超過額	320,959

## 貸借対照表 平成24年3月31日 (単位 千円)

資産の部		負債の部	
科目	本年度末	科目	本年度末
固定資産	17,910,848	固定負債	612,190
有形固定資産	12,929,746	退職給与引当金	603,581
その他の固定資産	4,981,102	長期未払金	8,609
流動資産	5,633,908	流動負債	1,268,432
現金預金	5,513,021	前受金	770,602
その他	120,887	その他	497,830
		負債の部合計	1,880,622
		基本金の部	
		科目	本年度末
		第1号基本金	21,039,175
		第4号基本金	304,000
		基本金の部合計	21,343,175
		消費収支差額の部	
		科目	本年度末
		翌年度繰越消費収入超過額	320,959
		消費収支差額の部合計	320,959
		科目	本年度末
資産の部合計	23,544,756	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	23,544,756

※23年度計算書類の詳細については、玉手山学園ホームページ  
<http://www.houjin.fuhsi-kagk-u.ac.jp>に掲出しております。

### 【資金収支計算書】

納付金収入は、学生・生徒数が前年度と比べ減少したため、前年度比214百万円減少、予算比9百万円減少の3,597百万円となりました。

手数料収入は、志願者数の増加により入学検定料収入が増加し、センター試験手数料等その他手数料も増加したため、前年度比13百万円、予算比14百万円増加の85百万円となりました。

寄付金は、「学園創立70周年記念事業基金」を本年度より行っており、前年度比32百万円増加、予算比39百万円増加の39百万円となりました。

補助金収入は、前年度比27百万円減少したものの、経常費補助金の増加により予算比では120百万円増加の685百万円となりました。

資産運用収入は、国内経済の長期低迷による預金利率の低い状態が続いており、運用資産の減少もあり、前年度比9百万円減少したものの、予算比では7百万円増加の60百万円となりました。

事業収入は、前年度比では10百万円減少したものの、補助活動事業収入が増加し、予算費では5百万円増加の53百万円となりました。

雑収入は、前年度比44百万円減少したものの、退職金財団からの交付金収入により予算比34百万円増加の101百万円となりました。

前受金収入は、学生・生徒・園児の入学者数が当初見込みより増加し、前年度比23百万円増加、予算比17百万円増加の770百万円となりました。

収入全体では前年度比128百万円減少、予算比300百万円増加の4,708百万円となりました。

人件費については、教職員数を抑制するという基本方針のもと、金額においては退職金支出が前年より多く、前年度比では112百万円増加したものの、予算比143百万円減少の3,114百万円となりました。

経費については、前年度比で管理経費支出が7百万円減少したものの、新学部での教育研究経費支出が増加したため合計で91百万円増加しましたが、予算比では各部門における削減効果が大きく教育研究経費支出、管理経費支出合計で85百万円減少の1,320百万円の支出となりました。

施設、設備関係支出では、大学新校舎建設関連の支出が591百万円あり、前年度比では84百万円増加しましたが、予算比では18百万円減少の923百万円となりました。

上記の結果、法人全体として期中の支払資金は前年度より917百万円減少の5,513百万円となりましたが減価償却引当特定資産への繰入支出288百万円差引後の支払資金です。

### 【消費収支計算書】

資金収支計算書・収入の部と同様、納付金・補助金・事業収入等が減少したものの、手数料・寄付金・雑収入の増加等の要因により、帰属収入の合計は前年度比では146百万円減少、予算比では230百万円増加の4,650百万円となりました。

大学新校舎建設等による基本金への組入が856百万円あり、消費収入合計は前年度比286百万円減収、予算比307百万円増収の3,793百万円となりました。

資金収支計算書・支出の部と同様、人件費については前年度比30百万円の増加となったものの、予算比では221百万円減少の3,054百万円となりました。経費については新学部の経費が増加し、前年度比120百万円増加となったものの、削減効果により予算比では69百万円の減少の1,834百万円となり、消費支出合計では前年度比150百万円増加、予算比299百万円減少の4,895百万円となりました。

当年度消費収支差額は予算では1,707百万円の支出超過でしたが、収入増と経費の削減効果により支出超過額が606百万円減少し、実績では1,102百万円の支出超過となり、翌年度繰越消費収入超過額は321百万円となりました。

なお、帰属収支差額は245百万円の支出超過となりました。

### 【貸借対照表】

固定資産については、大学新校舎建設関連の当年度支出として591百万円、新学部関連教育研究用機器備品として209百万円を計上し、合計で415百万円の増加となりました。

また、その他の固定資産として減価償却引当特定預金が288百万円増加し、固定資産合計では619百万円の増加となりました。

流動資産の減少は、新校舎建設関連支出による現金預金の減少によるものです。

以上の要因により、資産の部合計は前期末比273百万円減少の23,545百万円となりました。

退職金規程の改定に伴う退職給与引当金の減少により、負債総額は前期末比28百万円減少し、総額1,881百万円となりました。

基本金については、大学新校舎建設等による1号基本金組入に対し、備品の過年度簿外処理分の減額もあり、全体では852百万円の純増となりました。

消費収支計算書の部で述べたように、翌年度繰越消費収入超過額は、前期末比1,097百万円減少し、321百万円となりました。また純資産は前期末比245百万円減少の21,664百万円となりました。

## 平成24年度予算概要

### 資金収支補正予算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位 千円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	3,496,933	人件費支出	3,245,254
手数料収入	78,592	教育研究経費支出	1,010,494
寄付金収入	21,000	管理経費支出	473,377
補助金収入	698,897	施設関係支出	47,757
資産運用収入	54,838	設備関係支出	75,750
事業収入	53,728	資産運用支出	230,500
雑収入	109,440	その他の支出	239,460
前受金収入	862,518	[予備費]	15,000
その他の収入	79,540	資金支出調整勘定	△166,053
資金収入調整勘定	△874,847	次年度繰越支払資金	4,922,121
前年度繰越支払資金	5,513,021		
収入の部合計	10,093,660	支出の部合計	10,093,660

#### 【資金収支計算書】

平成24年度は、大学「保健医療学部」開設2年目であり、完成年度を迎えるまでは、収支の均衡を欠く要素を含んだ予算編成となっている。

資金収入は、引き続き厳しい学生募集環境を反映して学生・生徒・園児数減少による学納金の減少が見込まれるが、大学保健医療学部の学生増、大学院保健医療学研究所の設置及び補助金収入の増加もあり資金収入合計は、前年度比171百万円増の4,581百万円となった。

資金支出は、事業計画に基づく教育研究活動予算を組んでいるが、前年度には大学新校舎建設の支払いもあったため資金支出合計は、前年度比413百万円減の5,172百万円となった。

その結果、資金収支差額は591百万円の支出超過となり、次年度繰越支払資金が減少する予算編成となっている。支出超過の591百万円には退職給与引当特定資産及び減価償却引当特定資産への繰入支出231百万円が含まれている。

### 消費収支補正予算書 平成24年4月1日から平成25年3月31日まで (単位 千円)

消費収入の部		消費支出の部	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金	3,496,933	人件費	3,247,091
手数料	78,592	教育研究経費	1,490,805
寄付金	21,000	管理経費	523,979
補助金	698,897	[予備費]	15,000
資産運用収入	54,838		
事業収入	53,728		
雑収入	111,560		
帰属収入合計額	4,515,548		
基本金組入額	△123,507		
消費収入の部合計	4,392,041	消費支出の部合計	5,276,875
		当年度消費支出超過額	884,834
		前年度繰越消費収入超過額	320,959
		翌年度繰越消費支出超過額	563,875

#### 【消費収支計算書】

消費収支においても資金収支と同様の要因により、帰属収入合計は前年度比96百万円増の4,516百万円となる。前年度は、大学保健医療学部開設に伴う大学4号館建築等の基本金組入があったが、今年度は、基本金組入が減少したため消費収入合計は、前年度比924百万円増の4,392百万円となった。

消費支出は、事業計画に基づく教育研究活動予算が増加し、消費支出合計は、前年度比84百万円増の5,277百万円となった。

その結果、帰属収支差額の支出超過額が前年度比12百万円減の761百万円となり、消費収支差額の支出超過額が前年度比822百万円減の885百万円となった。翌年度繰越消費収支差額は、収入超過から支出超過となる予算編成となった。

※24年度補正予算書の詳細については、玉手山学園ホームページ <http://www.fuksi-kagk-u.ac.jp/> に掲出しております。

## 玉手山学園吹奏楽団

# 2012 K'sコンサート開催

- 1 ♪ 日程 平成24年12月22日 (土)  
開場16:00 開演16:30
- 2 ♪ 場所 柏原市民文化会館 リビエールホール
- 3 ♪ 出演 玉手山学園吹奏楽団  
柏原市立 堅下南中学校吹奏楽部  
柏原市立 玉手中学校吹奏楽部

- 4 ♪ 曲目 F LISZT Hungarian Rhapsody No.2  
T SQUARE OMENS OF LOVE  
Musical CATZ ~Memory~ 等々

